

2026年度 北海道科学大学 入学試験問題の出題意図

| | |
|-------|-------------|
| 選抜区分名 | 一般選抜〔前期〕2日目 |
| 科目名 | 国語 |

問題全体の出題意図

前期2日目大問1は、哲学者の中村隆文氏の文章から問題を作成しました。多文化共生や異文化交流を推進する一見望ましい立場に見えるリベラリズムの立場を歴史を踏まえ説明しながら、その立場にも含まれる危うい姿勢について議論を展開しています。リベラリズムやリベラル派、自由主義、ナショナリズムといった思想や立場がどのように関係したり、対立していたりするの理解しながら読解する力が求められる出題になっています。

| 大問番号 | 出題意図 |
|------|--|
| 問一 | 基本的な常用漢字の読みを問う問題です。いずれも日常的に使用される語句です。漢字を読む力をはかりました。 |
| 問二 | 文脈に合う接続詞を選択する問題です。文脈を把握する力をはかりました。 |
| 問三 | 本文中で抜けている一段落をどこに入れるかを問う問題です。抜けている文章が何を意味しているかをしっかり理解し、前後の文脈を判断する力をはかりました。 |
| 問四 | 棒線部の具体的内容を前後の文章から適切に理解できるか、読解力をはかる問題です。 |
| 問五 | 本文の傍線部分について、八十字以内で説明する記述問題です。「リベラリズム」と「リベラル」の違いに着目して読解し、適切に記述説明できる力をはかる問題です。 |
| 問六 | 棒線部の説明として適切なものを選択する問題です。指示内容を的確に理解できているかはかりました。 |
| 問七 | 本文の内容と合致するものを選ぶ問題です。本文全体の流れや著者の意見を適切に読み取れているかどうか、総合的な読解力を測りました。 |

2026年度 北海道科学大学 入学試験問題の出題意図

| | |
|-------|-------------|
| 選抜区分名 | 一般選抜〔前期〕2日目 |
| 科目名 | 国語 |

問題全体の出題意図

哲学研究者・山田圭一の『フェイクニュースを哲学する―何を信じるべきか』からの出題です。近年、フェイクニュースが及ぼす様々な悪影響が社会問題化する中、「そもそもフェイクニュースはなぜ問題なのか」という根本的問いを多角的に論じた文章です。比較的平易な語り口ながら読み手に論理的読解を求める文章であり、出題に際しては本文の論理を正確に把握できているかを総合的にはかりました。

| 大問番号 | 出題意図 |
|------|---|
| 問一 | 常用漢字の知識を問う問題です。語彙力をはかりました。 |
| 問二 | 筆者の考えと合致しないものを問う問題です。傍線部の前後の内容を正確に読み取ることができているかを問うことにより、読解力をはかりました。 |
| 問三 | 筆者の問いの中心をなす「真偽への関心」にも深くかかわる「嘘をつく人とでたらめをいう人」の問題について、傍線部の前後から理由を探して整理し、適切な言葉と文字数で論理的にまとめる問題です。読解力、思考力、判断力、表現力をはかりました。 |
| 問四 | 本文の後半で論じられる様々な「価値」について、正確に把握できているかを問う問題です。読解力をはかりました。 |
| 問五 | 本文中の脱落している文章を元の場所に戻す問題です。全体の論理の流れ、前後の文脈を正確に読み取ることができているかを問うことで、読解力をはかりました。 |
| 問六 | 「真なる信念」と「偽なる信念」について正確に理解できているかを問う問題です。傍線部の前後の内容を正確に読み取ることができているかを問うことにより、読解力をはかりました。 |
| 問七 | 本文の内容に合致しないものを問う問題です。全文の内容を正確に読み取ることができているかを問うことにより、総合読解力をはかりました。 |